

# GakuNin RDMの利用マニュアル

Ver. 1.1 2025年12月16日

## 改訂履歴

# 目次

1. GakuNin RDMとは
2. GakuNin RDMへのログイン
3. GakuNin RDMでのアカウントの設定
4. GakuNin RDMでのプロジェクトの作成
5. プロジェクトへのファイルのアップロード
6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)
7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加
8. 付録 GakuNin RDM ・ Cloudianオンラインマニュアル

# 1. GakuNin RDMとは

GakuNin RDMは、国立情報学研究所（NII）が提供する研究データ管理システムであり、研究者が研究活動の中で生成・収集するデータを安全かつ効率的に管理・共有するためのサービスです。使い方は付録に示すオンラインマニュアルを参照してください。

## 主な特徴と機能

- 研究データの一元管理

研究チームが持つ多様なデータを一つのプロジェクト単位で整理・保存し、メンバー間で共有できます。

メンバーには、鹿児島大学所属者（学生・教職員）はもちろん、学認※参加の他機関の構成員もメンバーにすることができます。

- 外部ストレージ連携

S3 Compatible Storageや各種クラウドストレージと接続が可能です。

- 研究公正の確保

タイムスタンプ機能により、ある時点でのデータの存在や変更の有無を証明でき、研究不正の防止に役立ちます。

- シングルサインオン対応

学術認証フェデレーションに対応しており、学外からでも普段と同じ環境で利用できます。

※学認とは国立情報学研究所（NII）が運営する学術認証フェデレーションです。詳しくは <https://www.gakunin.jp/> を参照。

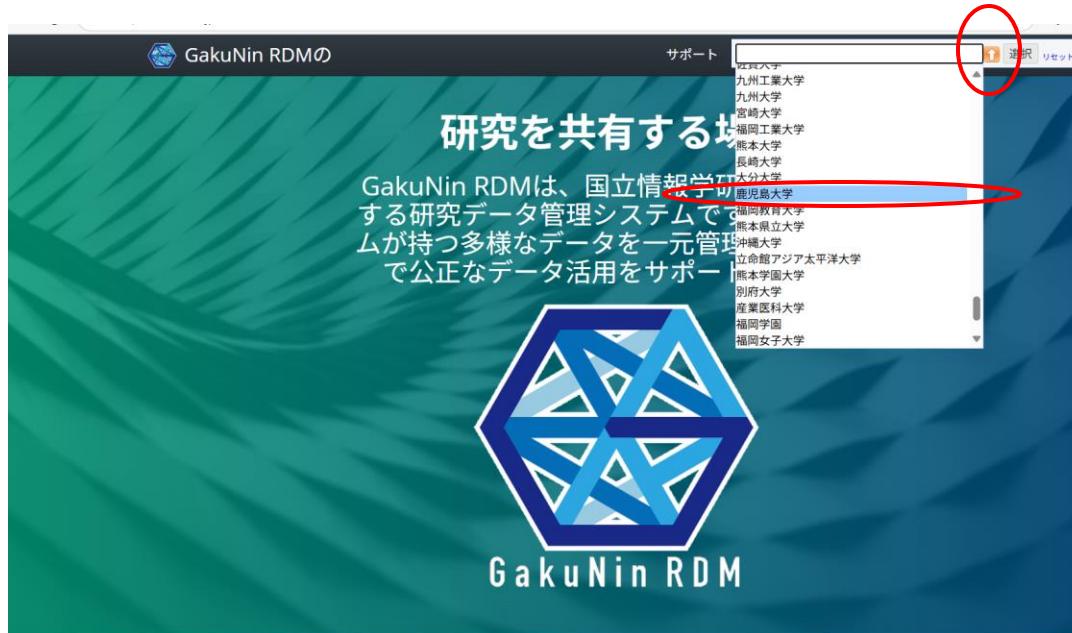
## 2. GakuNin RDMへのログイン

①. 下記URLからGakuNin RDMにアクセス

<https://rdm.nii.ac.jp/>

GakuNin RDMのサイトが表示されたら ↓ をクリックして鹿児島大学をクリックする。

選択ボタンをクリックする事で統合認証のページに遷移



## 2. GakuNin RDMへのログイン

②.鹿児島大学統合認証ページから鹿児島大学ID及びパスワードを入力してログインします。



鹿児島大学

ログインサービス: GakuNin RDM アカウント管理サービス

k2773395

.....

ログインを記憶しません。

送信する情報を再度表示して送信の可否を選択します。

**Login**

This image shows the login page for GakuNin RDM. The page features the Kyushu University logo at the top. Below it, the text 'ログインサービス: GakuNin RDM アカウント管理サービス' is displayed. There are two input fields: the first for 'ID' containing 'k2773395' and the second for 'Password' showing a series of dots. Below the fields are two checkboxes: one checked for 'Remember login' and one unchecked for 'Show send information again'. A large green 'Login' button is at the bottom.

### 3. GakuNin RDMでのアカウントの設定（初回ログイン時）

#### ①登録メールアドレス設定

登録メールアドレスを入力してメールアドレスを追加ボタンをクリック



The screenshot shows the GakuNin RDM account settings page. The left sidebar has a 'Account Settings' tab selected. The main area displays a message about account creation limits and a form for adding an email address. A red oval highlights the 'Email Address' input field and the 'Add' button.

お知らせ: 不正利用防止のため、2025年5月9日（金）より、Orthrosアカウントでの未申請利用にプロジェクトの作成制限を適用します。Orthrosアカウントで正式利用中の機関の方は、機関ドメインのメールアドレスをプロフィールのプライマリメールへ登録することで、従来通り利用が可能です。対象となるドメインが不明の場合は、各機関のご担当部署までお問い合わせください。【参考：Orthros利用機関の確認】 <https://support.rdm.nii.ac.jp/about/> (GakuNin RDMとは>> 私は GakuNin RDM を使えますか？)

設定

プロフィール

アカウント設定

アドオンアカウント構成

メール通知設定

開発者アプリ

パーソナルアクセストークン

マイプロジェクト 検索 サポート New User (no name) ▾

メールアドレスが未登録のユーザは、先に『登録メールアドレス』記入欄に、メールアドレスを入力・追加してください。

登録メールアドレス \*

未確認のメール

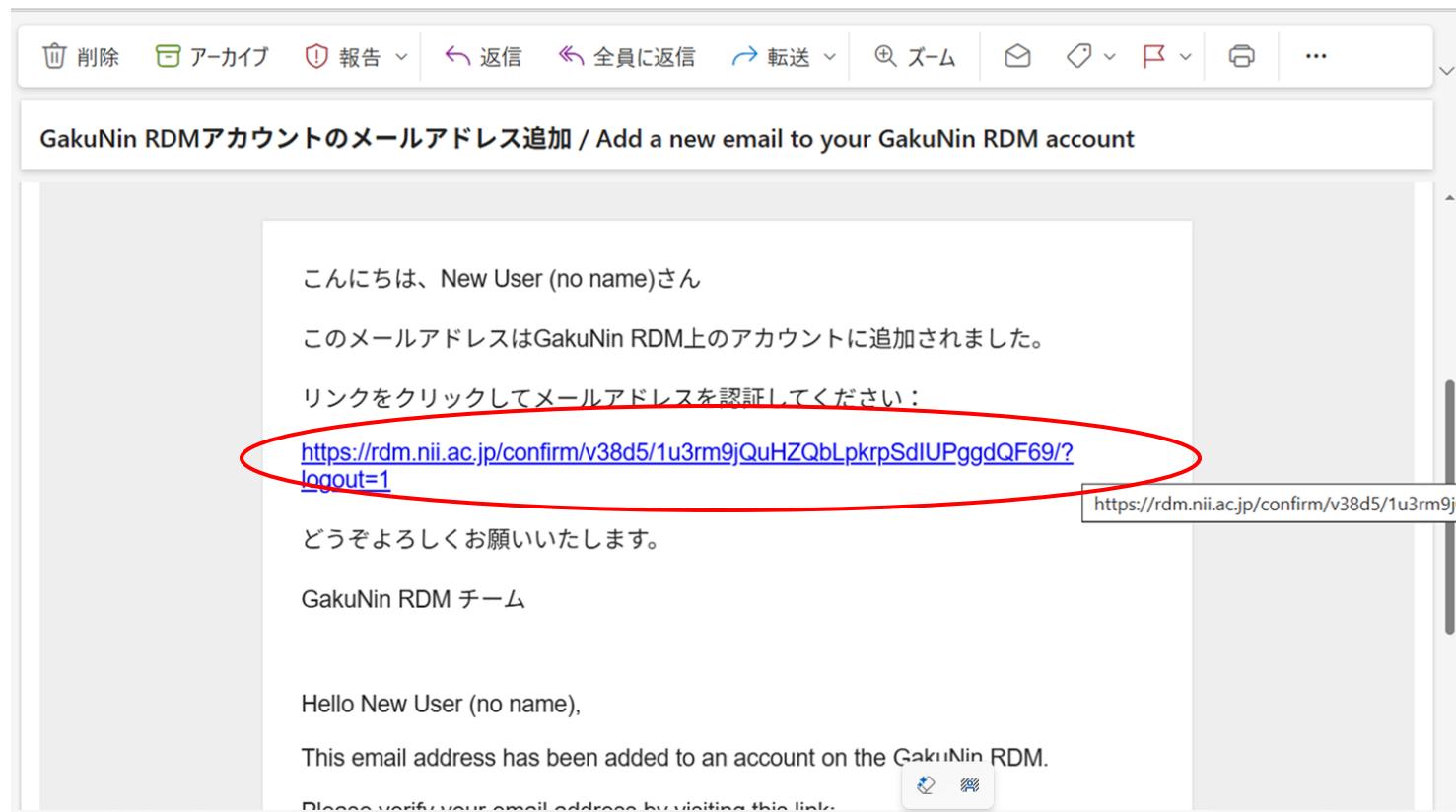
以下にメールアドレスを追加してください。

メールアドレス このフィールドに入力してください。

メールアドレスを追加

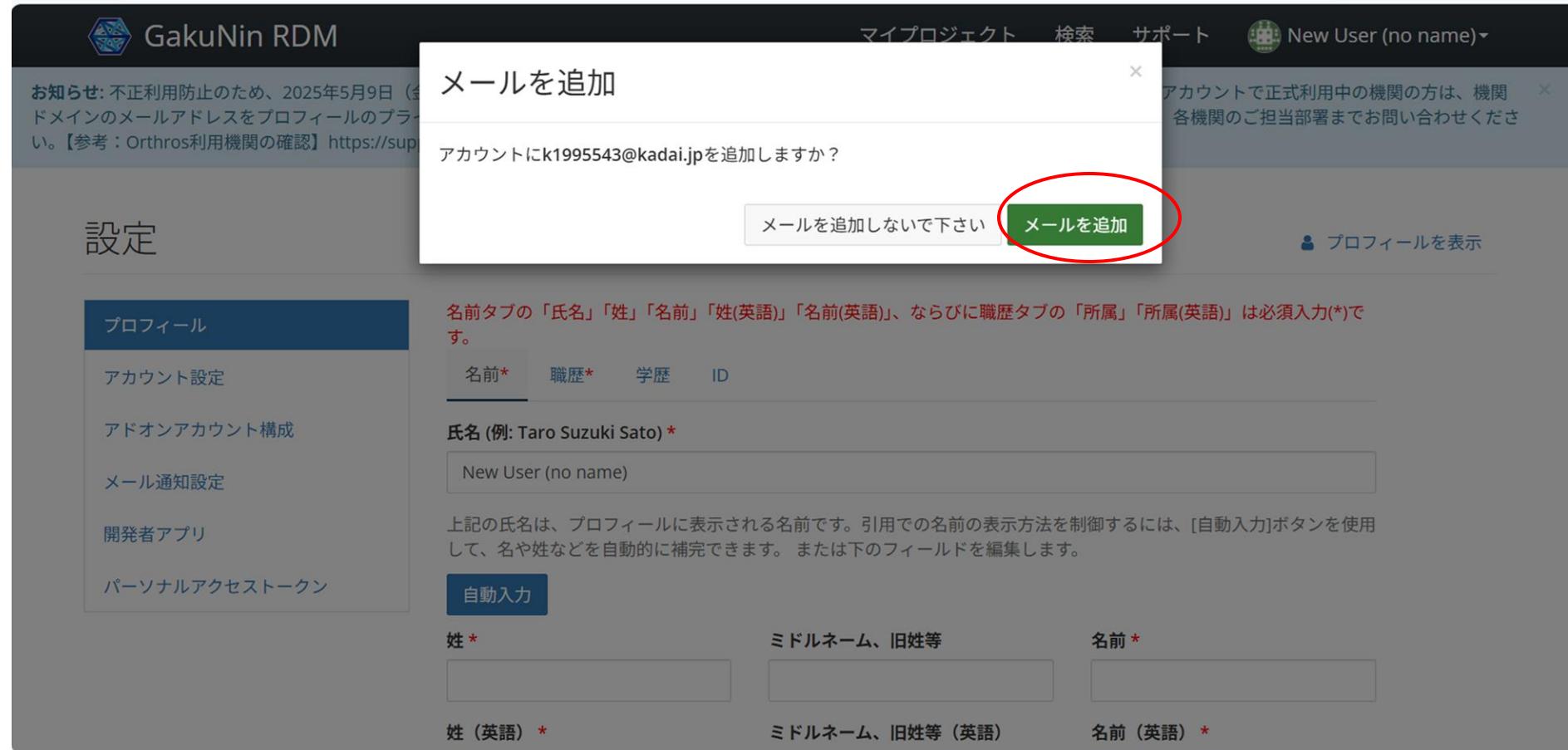
### 3. GakuNin RDMでのアカウントの設定（初回ログイン時）

- ②.登録メールアドレスに届く、GakuNin RDMからのメール本文内のリンクをクリックして、メールアドレスを認証する。



### 3. GakuNin RDMでのアカウントの設定（初回ログイン時）

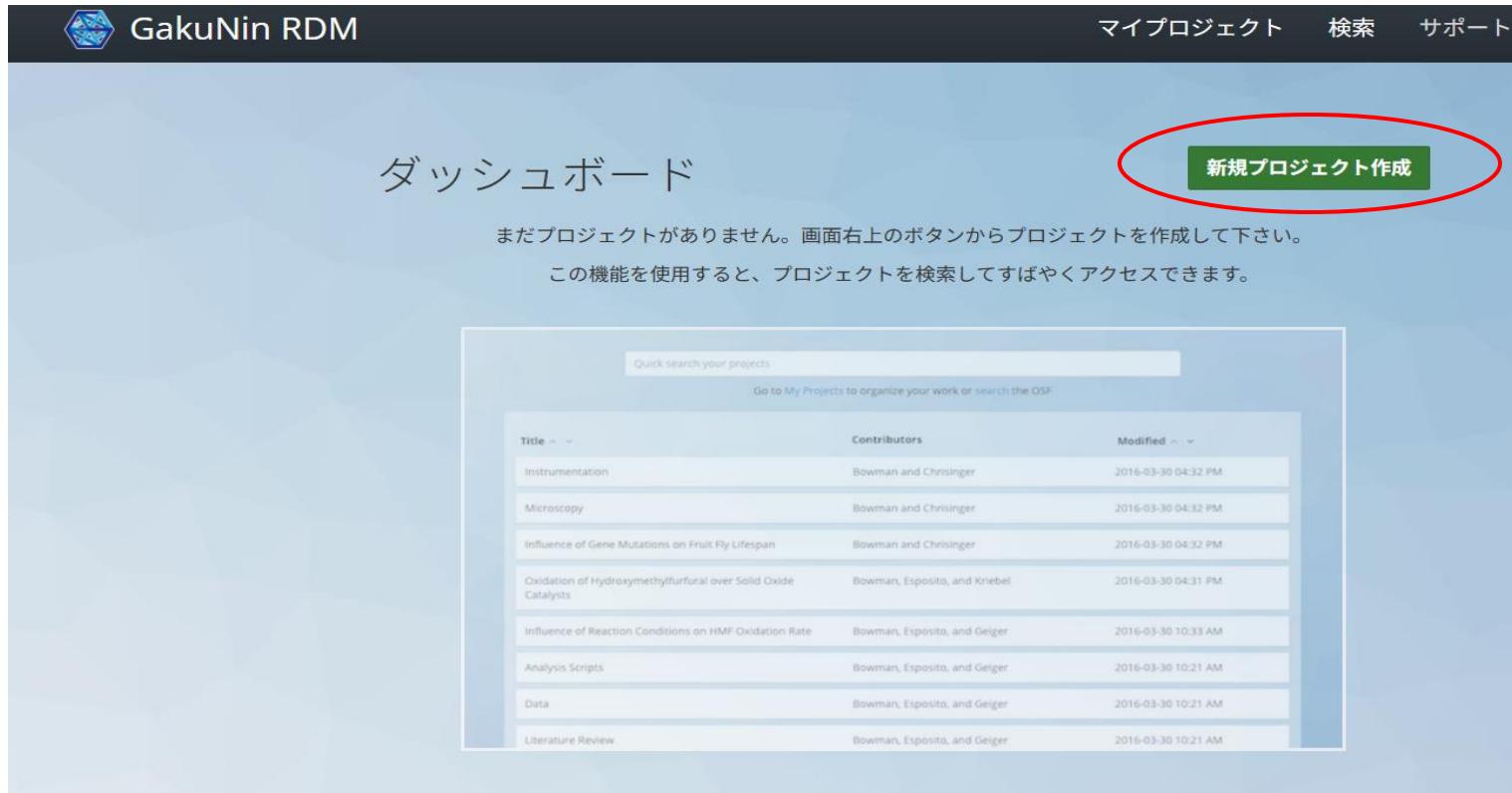
③.リンクをクリックすると、メールの追加確認画面が表示され、「メールを追加」ボタンをクリックして氏名、姓、名前、姓（英語）、名前（英語）及び職歴内の所属、所属（英語）を入力する。



# 4. GakuNin RDMでのプロジェクトの作成

## ①新規プロジェクトの作成（研究データの保管単位）

※プロジェクトごとにメンバーを設定することができるので、必要に応じて複数のプロジェクトを作成してください。

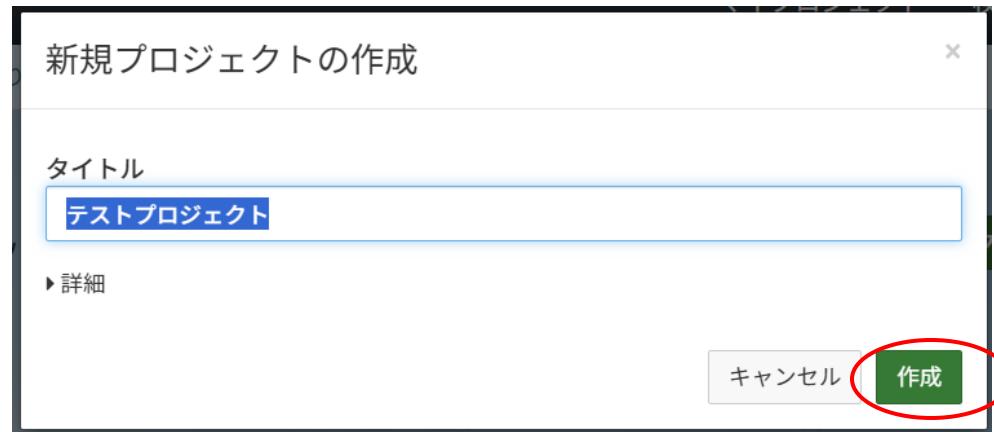


The screenshot shows the GakuNin RDM dashboard. At the top, there is a navigation bar with the GakuNin RDM logo, 'マイプロジェクト' (My Projects), '検索' (Search), and 'サポート' (Support). Below the navigation bar, the main area is titled 'ダッシュボード' (Dashboard). A green button labeled '新規プロジェクト作成' (Create New Project) is highlighted with a red oval. Below this button, there is a message: 'まだプロジェクトがありません。画面右上のボタンからプロジェクトを作成して下さい。' (No projects yet. Create a project from the button in the top right.) and 'この機能を使用すると、プロジェクトを検索してすばやくアクセスできます。' (Using this feature, you can search for projects and access them quickly). The bottom half of the screen shows a table of existing projects:

Title	Contributors	Modified
Instrumentation	Bowman and Chrsinger	2016-03-30 04:32 PM
Microscopy	Bowman and Chrsinger	2016-03-30 04:32 PM
Influence of Gene Mutations on Fruit Fly Lifespan	Bowman and Chrsinger	2016-03-30 04:32 PM
Oxidation of Hydroxymethylfurfural over Solid Oxide Catalysts	Bowman, Esposito, and Kriebel	2016-03-30 04:31 PM
Influence of Reaction Conditions on HMF Oxidation Rate	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:33 AM
Analysis Scripts	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:21 AM
Data	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:21 AM
Literature Review	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:21 AM

## 4. GakuNin RDMでのプロジェクトの作成

②.プロジェクトのタイトルを入力して作成ボタンをクリック



③.プロジェクトが作成されたら、「プロジェクトへ移動」ボタンをクリック



# 5. プロジェクトへのファイルのアップロード

①. プロジェクトが表示されたら「ファイル」をクリック



The screenshot shows the GakuNin RDM project page for 'テストプロジェクト'. The 'Files' tab is highlighted with a red circle. The page includes sections for Wiki, Reference, Components, and Tags.

**Wiki**  
重要な情報、リンク、または画像をここに追加して、プロジェクトを説明してください。

**ファイル**  
ストレージプロバイダーをクリックするか、ドラッグ&ドロップしてファイルをアップロードします

**名前**  **最終更新日時**

**ファイル**

**参考**

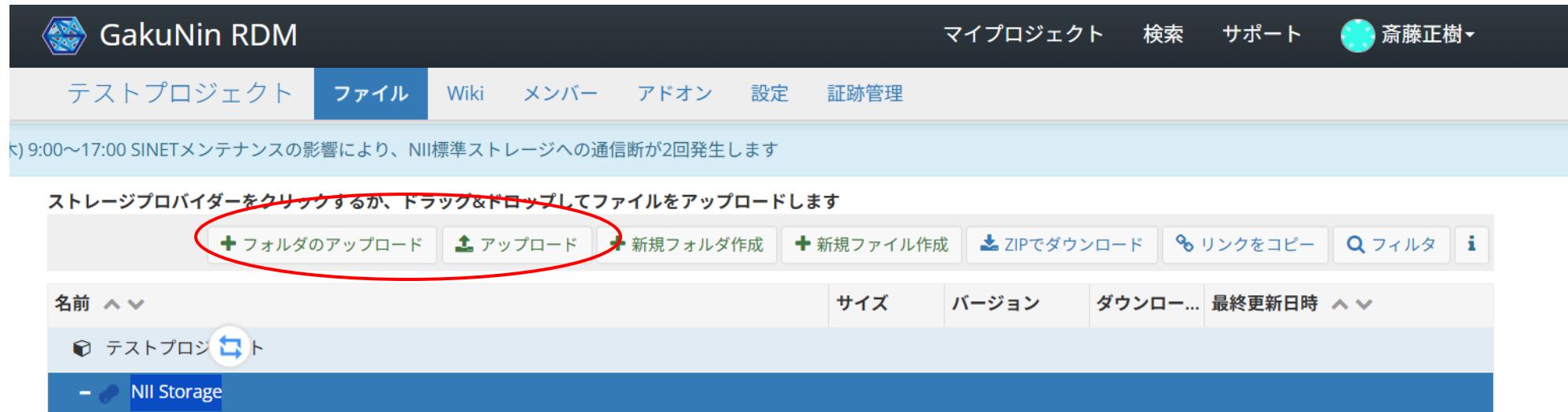
**コンポーネント**

コンポーネントを追加して、プロジェクトを整理します。

**タグ**  
タグを追加してプロジェクトを発見しやすくする

# 5. プロジェクトへのファイルのアップロード

②. NII Storageを選択後、表示されるフォルダーアップロードまたはアップロード（ファイル）を選択

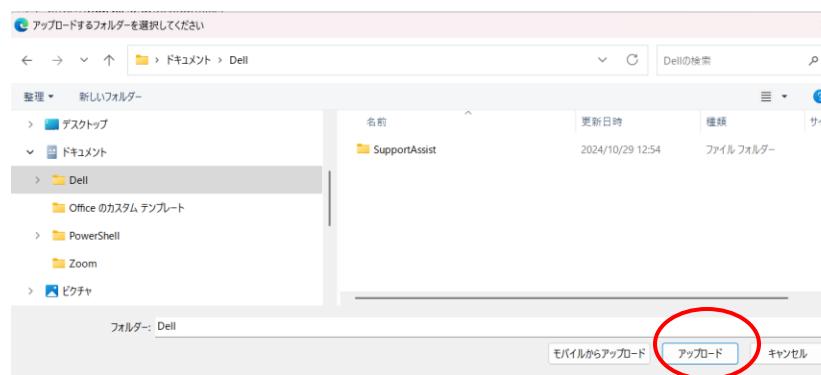


ストレージプロバイダーをクリックするか、ドラッグ&ドロップしてファイルをアップロードします

名前 サイズ バージョン ダウンロー... 最終更新日時

テストプロジェクト NII Storage

③. フォルダーまたはファイルを選択後アップロードボタンをクリック



## 6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)

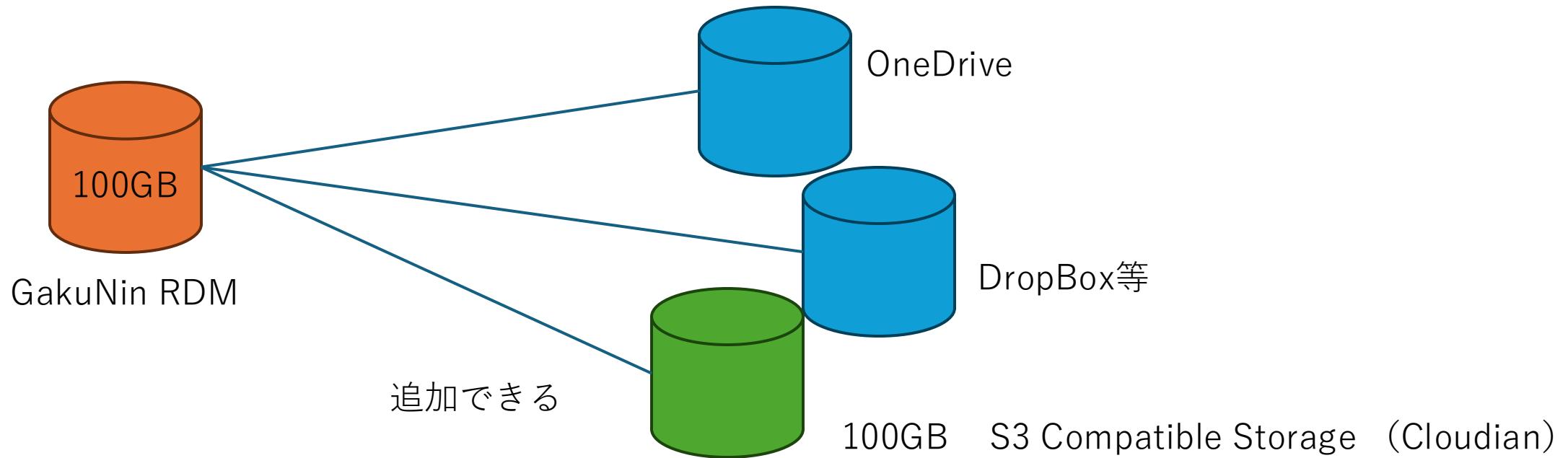
- 拡張ストレージについて

GakuNin標準ストレージ (NII Storage) とは別に、外部ストレージ ( S3 Compatible Storage (Cloudian) OneDrive等) をプロジェクトに拡張ストレージとして追加設定することで、標準ストレージと同様に利用することが可能です。

鹿児島大学として、 S3 Compatible Storage (Cloudian)を用意しているので利用（追加）可能です。

※但し、 GakuNin RDM の仕様により、 S3 Compatible Storageは一種類のサービスのみ利用可能です。

複数のS3 Compatible Storageの併用はできません。



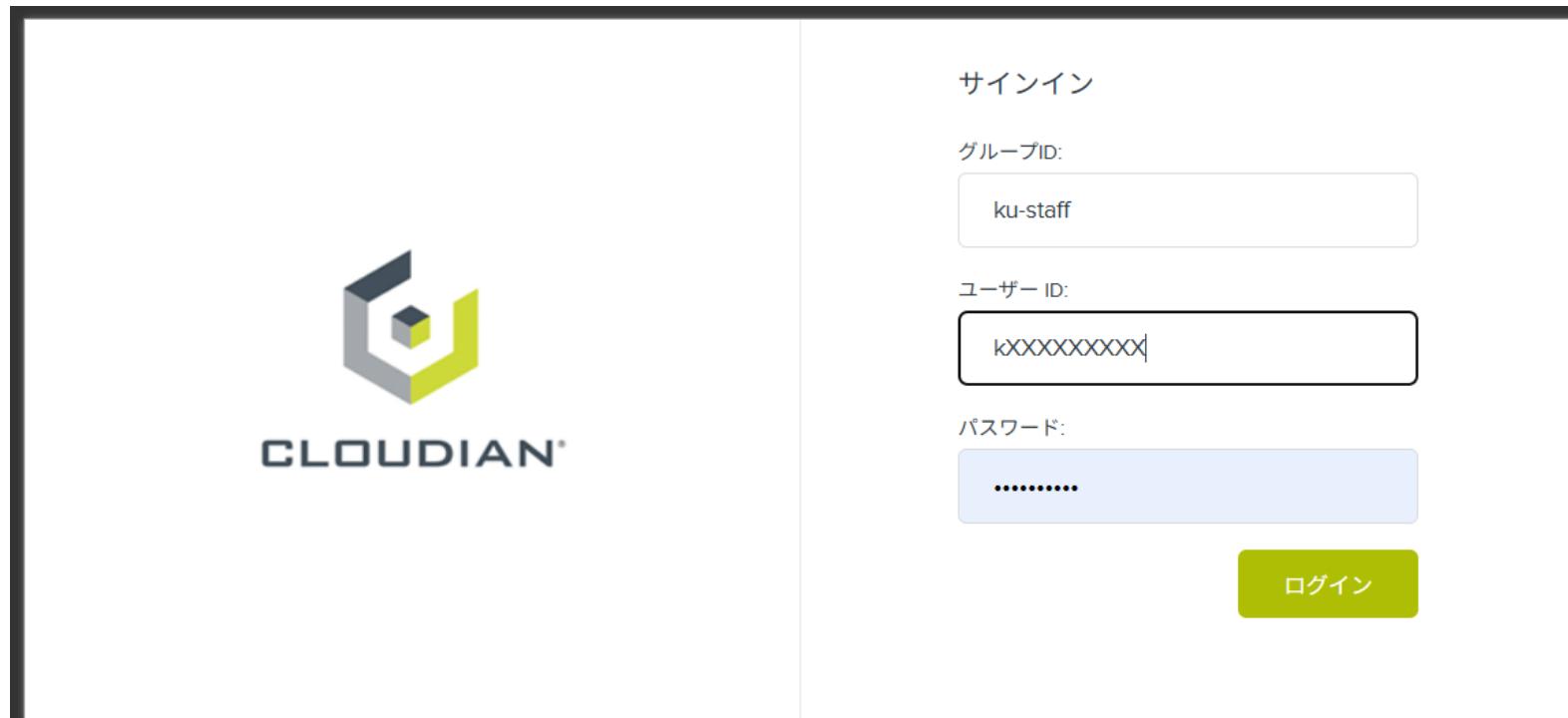
## 6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)

- ①.GakuNin RDMからの接続で必要となるアクセスキーを確認するために、下記URLから Cloudian Management Console (CMC)にアクセスしてログイン

<https://cmc.cc.kagoshima-u.ac.jp:8443/>

グループID : ku-staff (固定)

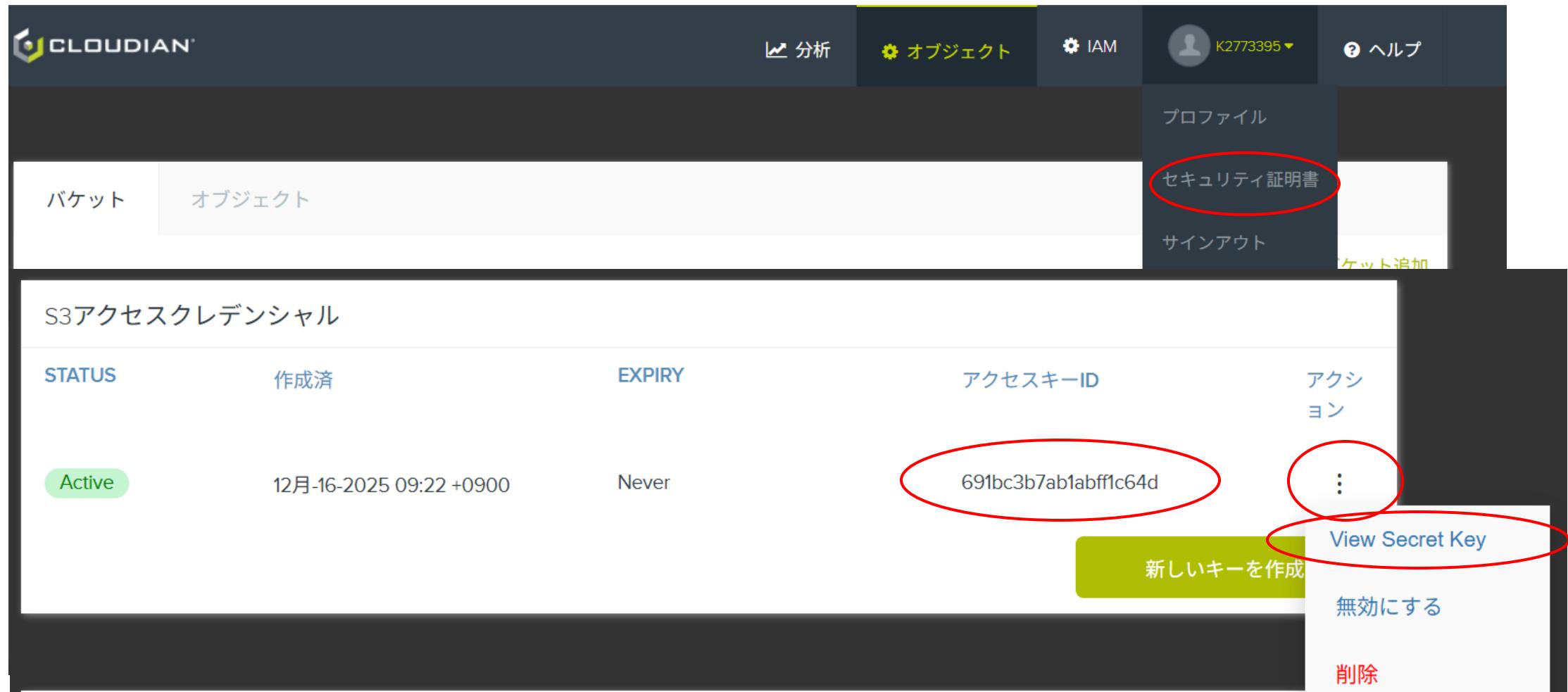
ユーザID : 鹿児島大学ID (kxxxxxxxx) パスワード : 統合認証のパスワードを入力



# 6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)

## ②.CMCのアカウントタグ→セキュリティ証明書を選択

GakuNin RDMからの接続で必要となるアクセスキーIDの取得及び、シークレットキーを「View Secure Key」を選択してその後表示される値を取得する。



The screenshot shows the Cloudian Management Console (CMC) interface. At the top, there is a navigation bar with the Cloudian logo, search bar, and various menu items: 分析 (Analysis), オブジェクト (Objects), IAM, and a user profile (K2773395). A dropdown menu for the user profile is open, showing 'プロファイル' (Profile), 'セキュリティ証明書' (Security Certificate), 'サインアウト' (Sign Out), and 'バケット追加' (Add Bucket). The 'セキュリティ証明書' option is circled in red.

The main content area is titled 'S3アクセスクレデンシャル' (S3 Access Credentials). It displays a table with the following data:

STATUS	EXPIRY	アクセスキーID	アクション
Active	12月-16-2025 09:22 +0900	691bc3b7ab1abff1c64d	<span>⋮</span> <a href="#">View Secret Key</a>

Below the table, there are buttons for '新しいキーを作成' (Create New Key) and '無効にする' (Disable). A red circle highlights the 'View Secret Key' button. The Access Key ID '691bc3b7ab1abff1c64d' is also circled in red.

## 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

- ③. GakuNin RDMに戻り、ストレージを追加するプロジェクトを選択してプロジェクト内のアドオンをクリック  
→S3 Compatible Storageのアドオンを有効化するをクリックする。



アドオンを選択

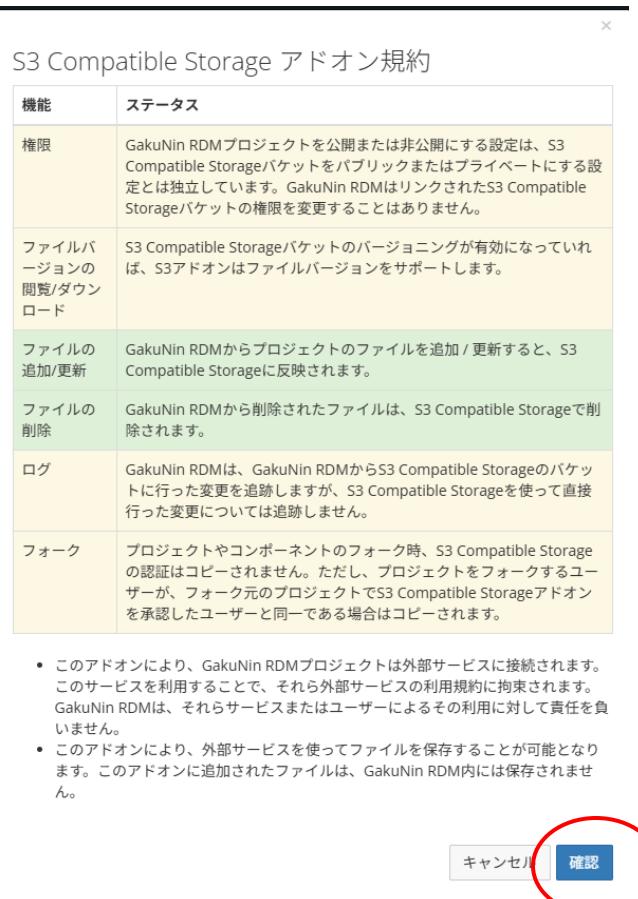
アドオンを選択

プロジェクトを外部サービスと同期して、接続と整理を維持します。カテゴリーを選択し、オプションを参照します。

カテゴリー	検索する...
すべて	ONLYOFFICE (これは標準ストレージです)
文献管理	OpenStack Swift 有効にする
ストレージ	Oracle Cloud Infrastructure Object Storage 有効にする
その他	ownCloud 有効にする
	S3 Compatible Storage 有効にする
	Zotero 有効にする

# 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

④. アドオンを規約を確認して確認ボタンをクリックする。



## 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑤アドオンを有効にすると表示される、「アドオンを構成」の「プロファイルからアカウントをインポート」をクリック→S3 Compatible Storageアカウントに接続ボタンをクリック

The screenshot shows the GakuNin RDM interface. The top navigation bar includes the logo, 'GakuNin RDM', 'マイプロジェクト', '検索', 'サポート', and a user profile for '斎藤正樹'. The main menu has tabs: 'テストプロジェクト', 'ファイル', 'Wiki', 'メンバー', 'アドオン' (which is highlighted in blue), '設定', and '証跡管理'. A sub-menu for 'アドオンを選択' is open, showing 'アドオンを構成'. A modal window is displayed, titled 'S3 Compatible Storageアカウントに接続しますか？'. It contains a message: 'S3 Compatible Storageアカウントをこのプロジェクトに接続してもよろしいですか？' with 'キャンセル' and '接続' buttons. The '接続' button is circled in red. Below the modal, the 'アドオンを構成' section shows 'S3 Compatible Storage' with a red oval around the text 'プロファイルからアカウントをインポート'.

## 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑥. S3互換ストレージアカウントを接続する画面にて、下記項目を入力する。

- ・S3互換サービス：Kagoshima University RDM storage(Clodian)を選択
- ・アクセスキー：②で取得したアクセスキーIDを入力
- ・シークレットキー：②で取得したシークレットキーを入力

S3互換ストレージアカウントを接続する

S3互換サービス

Kagoshima University RDM Storage (Cloudian)

アクセスキー

2da7273e135b9ee3a026

シークレットキー

.....

キャンセル 保存

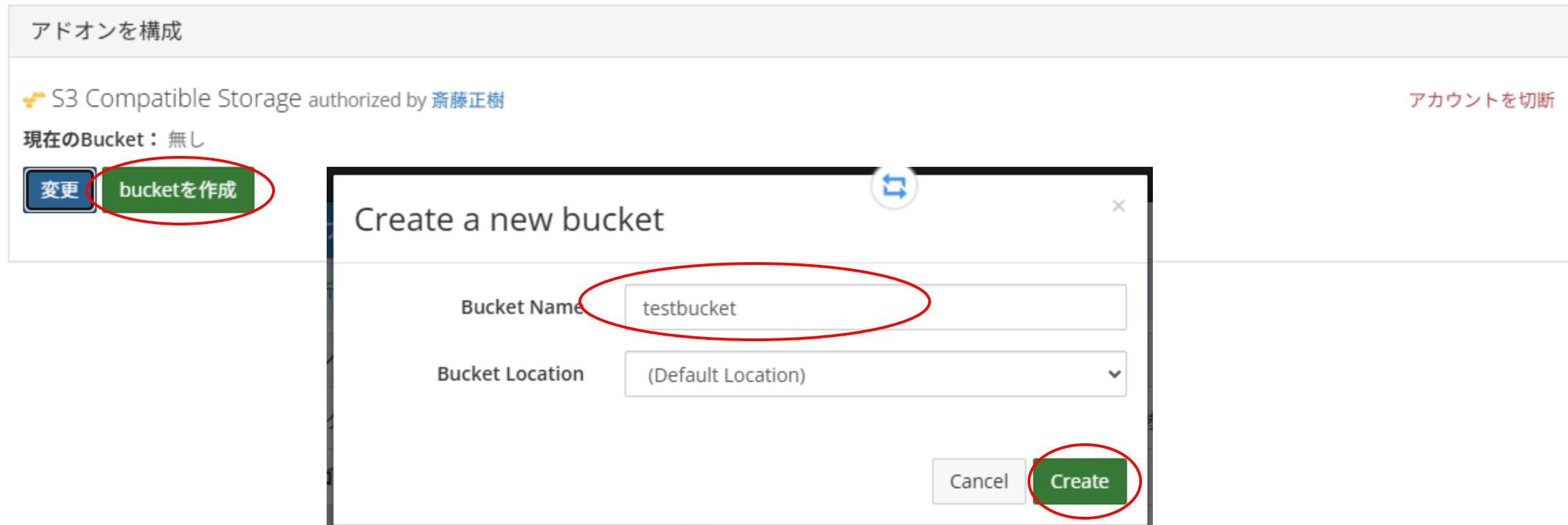


## 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

### ⑦. 使用するBucket (フォルダー) 作成

bucketを作成ボタンをクリックして、Bucket Nameに名前を入力してcreateボタンをクリックする。

※ Bucket Nameは、全学で一意の値にする必要があり、すでに使用されている場合にはエラーが発生します。  
このためBucket Nameの先頭に鹿児島大学IDなどを付けるなど、一意になるようにしてください。  
またBucket Nameに使用可能な文字種は、英字小文字、数字、ハイフン (-)、ピリオド (.)です。

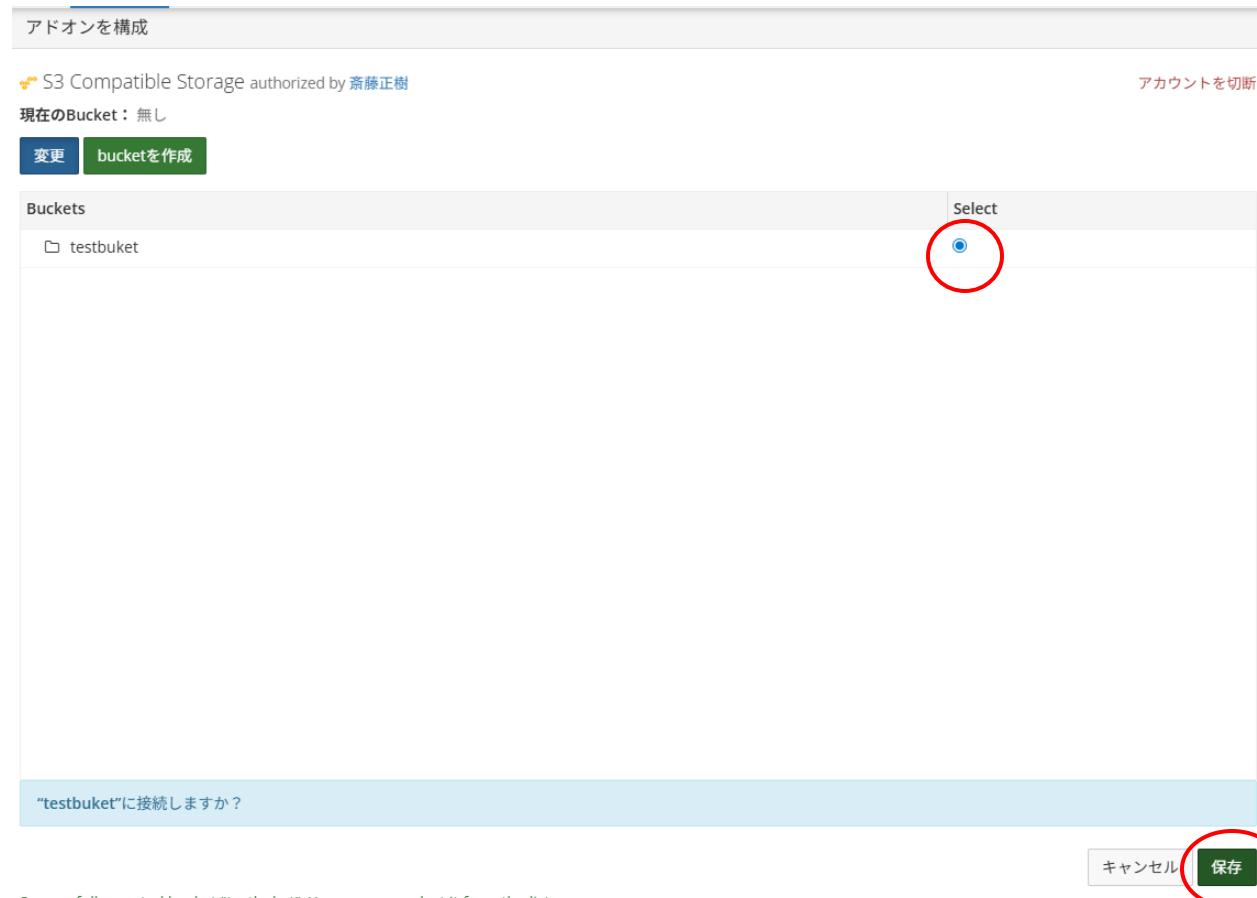


## 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

### ⑧. bucket作成後、使用するBucketを選択して保存をクリック

※Bucketは、複数作成可能ですが、プロジェクトで使用できるBucketは1つのみです。

複数のプロジェクトで同じBucketを利用することもできますが、ファイルがそれぞれのプロジェクト参加メンバーからアクセスできるので、プロジェクトごとにBucketを分けた方が良いでしょう。



## 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑨. ファイルをクリックして作成したBucketが、S3 Compatible Storageに表示されることを確認します。



The screenshot shows the GakuNin RDM web interface. At the top, there is a navigation bar with the GakuNin RDM logo, a search bar, and a user profile for '斎藤正樹'. Below the navigation bar, there is a secondary navigation bar with tabs: 'テストプロジェクト' (Test Project), 'ファイル' (File), 'Wiki', 'メンバー', 'アドオン', '設定', and '証跡管理'. The 'ファイル' tab is highlighted with a red circle. A message banner at the top of the main content area states: '9:00~17:00 SINETメンテナンスの影響により、NII標準ストレージへの通信断が2回発生します' (Due to SINET maintenance, communication interruption to the NII standard storage will occur twice between 9:00 and 17:00). The main content area displays a table of storage providers. The columns are: '名前' (Name), 'サイズ' (Size), 'バージョン' (Version), 'ダウンロード' (Download), and '最終更新日時' (Last Update). The data in the table is as follows:

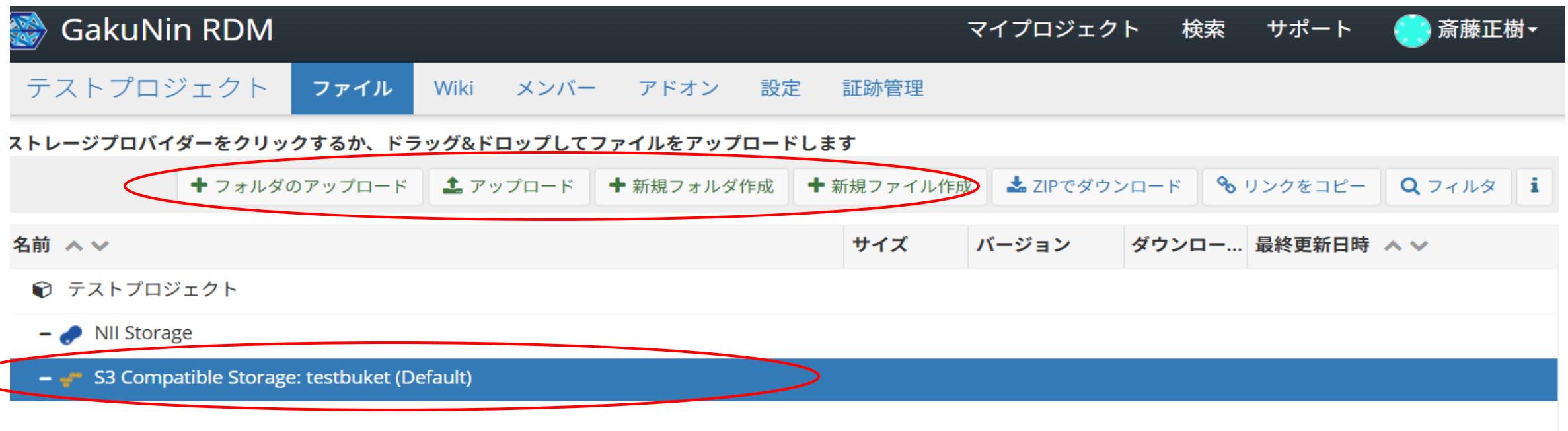
名前	サイズ	バージョン	ダウンロード	最終更新日時
テストプロジェクト				
- NII Storage				
+ Dell				
+ S3 Compatible Storage: testbuket (Default)				

There is a 'フィルタ' (Filter) button with a magnifying glass icon and an 'i' icon for information.

## 7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

### ⑩. フォルダー及びファイルの作成

S3 Compatible Storageをクリックすることで、フォルダーのアップロード、アップロード、新規フォルダー作成、新規ファイルが表示され、これらの項目を選択して作成します。



The screenshot shows the GakuNin RDM interface. At the top, there is a navigation bar with the GakuNin RDM logo, a user profile for '斎藤正樹', and links for 'マイプロジェクト', '検索', and 'サポート'. Below the navigation bar, there is a menu bar with tabs: 'テストプロジェクト' (selected), 'ファイル', 'Wiki', 'メンバー', 'アドオン', '設定', and '証跡管理'. A sub-menu for 'ストレージプロバイダー' is open, showing options: 'S3 Compatible Storage' (selected), 'Amazon S3', 'Amazon CloudFront', and 'Amazon CloudWatch Metrics'. Below the sub-menu, there is a message: 'ストレージプロバイダーをクリックするか、ドラッグ&ドロップしてファイルをアップロードします'. Underneath this message, there is a toolbar with buttons: '+ フォルダのアップロード' (highlighted with a red circle), 'アップロード', '+ 新規フォルダ作成' (highlighted with a red circle), '+ 新規ファイル作成' (highlighted with a red circle), 'ZIPでダウンロード', 'リンクをコピー', 'フィルタ', and an information icon. The main content area shows a table of storage providers. The table has columns: '名前' (Name), 'サイズ' (Size), 'バージョン' (Version), 'ダウンロード' (Download), and '最終更新日時' (Last Updated). The table shows three entries: 'テストプロジェクト' (selected), 'NII Storage' (selected), and 'S3 Compatible Storage: testbuket (Default)' (highlighted with a red circle). The 'S3 Compatible Storage' entry is highlighted with a blue bar.

名前	サイズ	バージョン	ダウンロード	最終更新日時
テストプロジェクト				
- NII Storage				
- S3 Compatible Storage: testbuket (Default)				

※フォルダー及びファイル名称に使用可能な文字種に関しては、英数字及び下記の記号が使用可能です。

但しアスタリスク (\*)は、Windowsでは使えないため、使わない方が無難です。

漢字に関しても技術的には使用可能ですが、運用上のトラブルを避けるため非推奨です。

<使用可能な記号>

感嘆符 (!)、ハイフン (-)、下線 (\_)、ピリオド (.)、アスタリスク (\*)、一重引用符 ('), 左丸括弧 ((), 右丸括弧 ())

## 8. 付録 GakuNin RDM・Cloudianオンラインマニュアル

<**GakuNin RDMオンラインマニュアル**>

<https://support.rdm.nii.ac.jp/usermanual/>

<**GakuNin RDM活用事例集**>

<https://support.rdm.nii.ac.jp/casestudy/>

<**GakuNin RDM Q&A集**>

<https://support.rdm.nii.ac.jp/faq/>

<**Cloudian HyperStore利用者マニュアル**>

[拡張ストレージ利用マニュアル（HyperStore利用者マニュアル）](#)